

|| New ||

学生の利用に最適なVDIシステム

BYOD時代の  
共通環境



# CO-Gateway

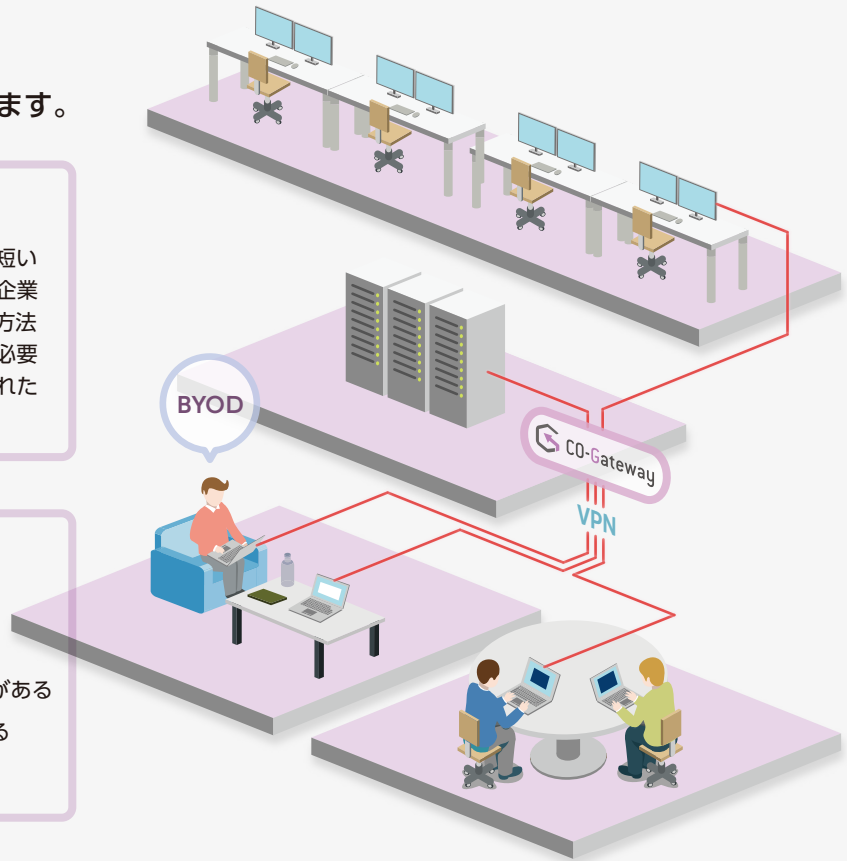
VDIにより共通環境を準備することで、  
BYODを活用した学習をスムーズに進められます。

## 学生向けVDIシステムとは？

学生向けVDIには「1つの環境を複数人で共有し、講義間の短い休み時間に順次交代して利用する」という特徴があります。企業や事務での「1つの環境を1人が占有しつづける」という利用方法とは大きく異なるため、学生向けVDI特有の構成や機能が必要となります。CO-Gatewayは学生向けVDIのために作られた製品です。

## 学生向けVDIの特徴

- 共通環境 : 多数の同じ環境を提供する必要がある
- 環境復元 : ユーザーが変わる毎に環境復元させたい
- 交代で利用 : 利用者が頻繁に短時間に入れ替わる必要がある
- 負荷が変動 : 時間帯により同時利用数が大きく変動する
- 多様な環境 : WindowsやLinux、複数の環境を使える



POINT  
01

## BYOD端末から手軽にアクセスできる

ブラウザ接続なので利用は簡単。PC教室でPCの電源を入れるのと同じように、BYOD端末でHTML5対応のブラウザを開くだけですぐにVDI環境を利用できます。その他、専用アプリを用いてのRDP・VNC・SSHでの接続にも対応。



POINT  
02

## 1つの環境を複数人で共有するために

一定時間ごとにユーザーの画面にメッセージを表示して退出を促すことや、既定の利用可能時間が終了した際に強制的に退出させることができます。次に利用するユーザーは、初期化された状態の環境で利用を開始できます。



POINT  
03

## LMSと連携 (LTI 1.3対応)

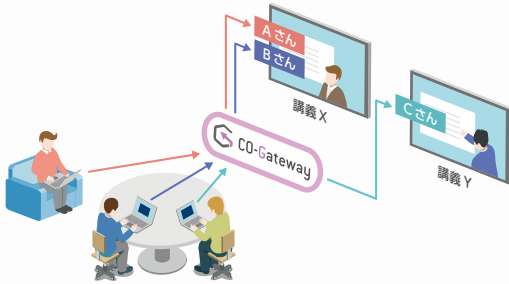
LMSに対して、LTI連携でVDI環境への接続情報を提供。LMS上で教材と同列にVDI環境へのリンクを表示できます。時間割情報や履修情報・予約情報に基づき、利用可能なVDI環境を限定列挙して提示することもできます。



POINT  
04

## ユーザーごとに 最適な接続先を提示

VDIへ接続する際に、ユーザー情報（学生か教職員）や予約情報（履修情報）などによって、最適なVDI環境を提示します。

POINT  
05

## 多様なVDI基盤に対応

VDI基盤は「VDIサーバー」「学内のPC教室」「Azure Virtual Desktop (AVD)」を組み合わせることで導入できます。ユーザーに対しては、VDI基盤の違いを意識させることなく、Windows環境やLinux環境を同列に提示できます。  
※AVDについては「CO-Gateway with AVD」の資料をご覧ください。

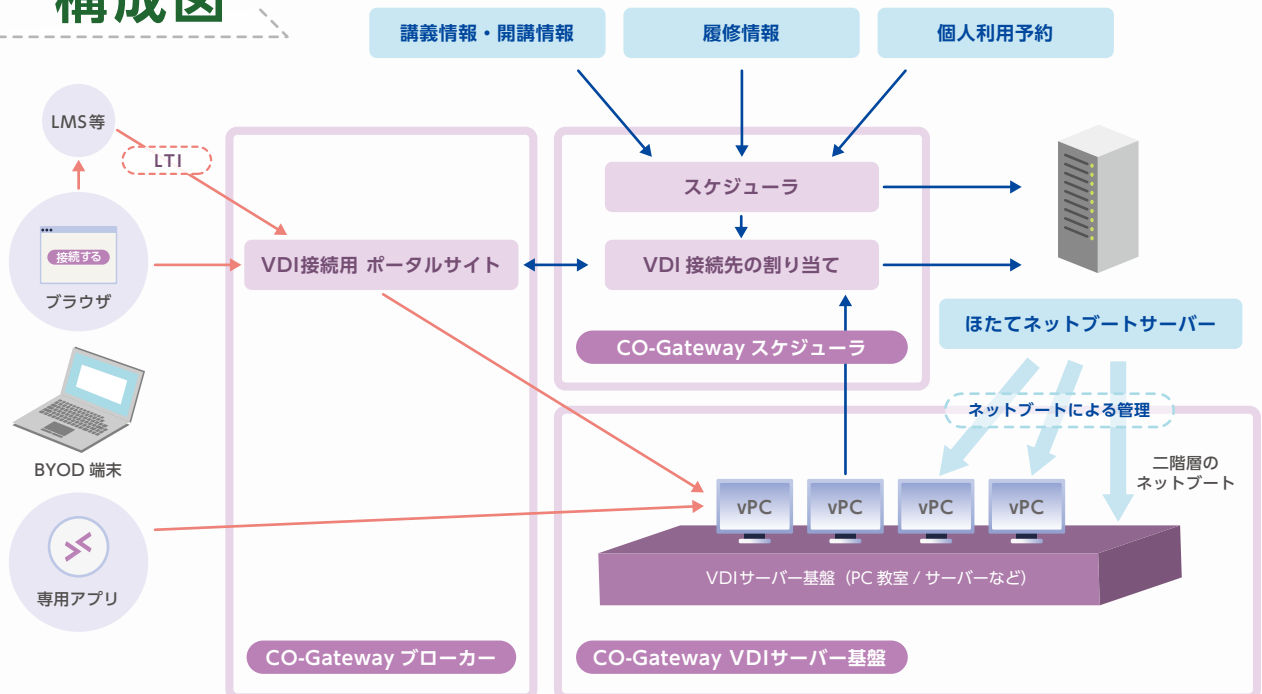
POINT  
06

## リソース・同時接続数が可変

曜日や時間帯によるニーズの変化にあわせて、同時に多数のVDI環境を準備することも、高スペックなVDI環境を準備することもできます。



## 構成図



### VDIとライセンスについて

VDIでWindows環境をリモート利用する際には、接続元となる端末やユーザーに適切なライセンスを割り当てる必要があります。また、接続先の環境で利用するアプリケーションについても、リモート利用が許可されているかどうかをそれぞれのアプリケーション毎に確認する必要があります。CO-Gatewayはネットブートを利用してVDI環境を構築するため、VDIサーバー基盤として利用する教室PCにおいて、リモート利用が許可されたアプリケーションのみが導入された環境に切り替える運用が可能です。



お問い合わせ

株式会社 シー・オー・コンヴ

〒606-8301 京都市左京区吉田和泉殿町1番地7 百万遍ビル3F  
Tel : 075-606-5394 / Email : info@co-conv.jp製品についての更に詳しいご案内は  
弊社Webサイトで！
<https://www.co-conv.jp/product/co-gateway/>